

# ファンズワース邸



アメリカ シカゴ郊外



ファンズワース邸はミース・ファンデル・ローエが設計して1951年に完成した。

独・テッサウのバウハウスで校長になったミースだが、ナチスに追われて1938年に渡米した。イリノイ工科大学の建築学部長を勤めていた45年、エディ・ファンズワース女史（シカゴの著名な医師）から予算4万5000ドルで建築の依頼を受けた。しかし、完成した時は7万3000ドルかかっていた。当時、予算オーバーはよくあったというが、両者の間で金を払わない、払えと互いに訴訟問題になり、ミースが勝って、ファンズワース女史は全額払った。

ファンズワース邸は白く塗った鉄骨に四面ガラス張りの平屋建て。62エーカー（62×1200坪）もの広大な敷地の中に、周囲を林に囲まれて建てられている。週末、静かに思索にふけるための別荘として造られたが、ミースは住む人のことはあまり考慮しなかったようだ。例えば、完成した時、クローゼットはなかった。ファンズワース女史の要請で設置したが、ミースは設置を嫌った。洗濯する場所もない。開閉できる窓は1カ所だけ。夏は暑くて過ごしにくかったようだ。ただし、空気を入れる設備は2つあったという（今はエアコンが入っている）。暖房は温水式床暖房を採用（当時）しているが、暖炉は形だけの小さなものだけ。

1972年、英国在住のロード・パロンボ氏に売却された。現在、売りに出されているが、買い求める個人はいない。しかし、イリノイ州が買い上げる話が9割方決まっているため、我々が見学した日を最後に一般公開はなくなった。いずれ、整備した後、再び公開されるのでは…ともいわれているが。

